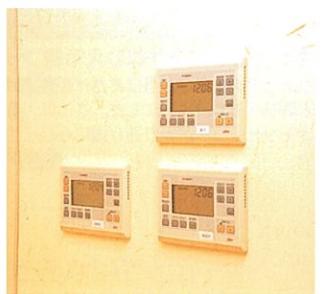


◀浴槽は小さめのサイズに  
1坪あるバスルームだが、浴槽は小さめのものに。万一濡れても、上半身を抱えやすいように、浴槽の片方は壁付けにしてないんです。と奥さん。(1階の図面参照)



↑足元から暖まる床暖房を  
冬はエアコンと約36℃の低温床暖房で、家中暖める。床暖房のリモコンはサンタリー前にあり、場所ごとの切り替えも可。

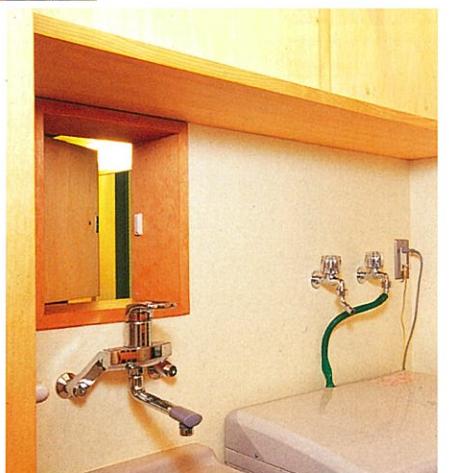


▲洗面室とトイレ、脱衣室を兼ねた広いサニタリー  
脱衣室も兼ねる洗面・トイレは、ひと続きの空間。自力で立つたり座つたりできるように、便器部の両側に手すりを付けている。



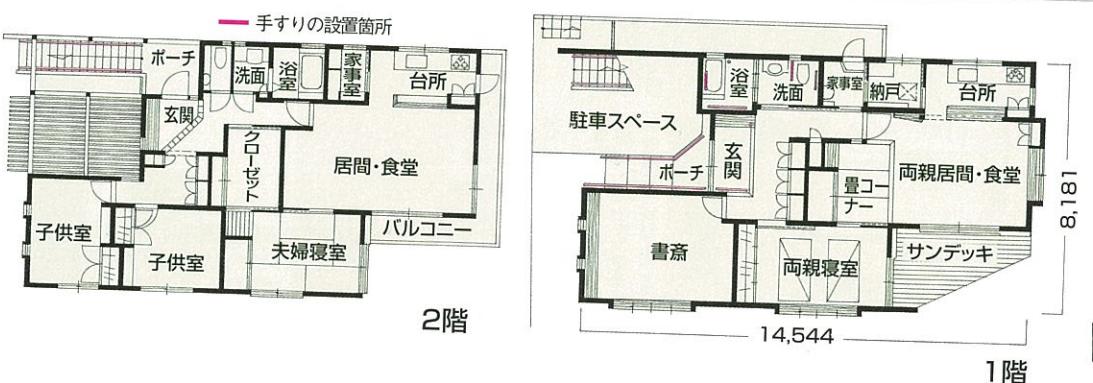
### 酒井家のDATA

家族構成／親世帯 夫(77歳) 妻(71歳)  
子世帯 夫(47歳) 妻(48歳)  
長女(21歳) 次女(19歳)  
敷地面積／187.85m<sup>2</sup>(56.92坪)  
延床面積／178.05m<sup>2</sup>(53.96坪)  
1階／88.82m<sup>2</sup>(26.92坪)  
2階／89.23m<sup>2</sup>(27.04坪)  
構設施／造木造在来工法 2階建て  
計／環境企画G 下高井戸分室(井上文)  
工／新協建設工業 多摩営業所



### ↑居心地のよいLDK

ヒノキの柱に米マツの梁、床はカバザクラの無垢フローリング張りなど、木の温もりにあふれる1階LDK。窓はペアサッシで、断熱性の高い家づくりがされている。



**バリアフリーだからと装備しすぎない。回復力を自然に引き出す、心も身体も健やかに暮らせる住まいになりました。**

酒井さんの家は、完全分離型の二世帯住宅。ご夫妻は広い玄関を入れた1階のフロア、外階段を上った2階に息子さん一家が暮らしています。1、2階とも水まわりの位置をそろえ、隣は畠で光が十分入る東側に居間を配しています。

1階は、収納のまわりをぐるりと回れる動きやすいプラン。ご主人は自力で歩けるため、玄関や浴室、トイレのみ手すりを付けることにしました。「バリアフリーだからと何でも用意しすぎては、本人の潜在能力をかえつて奪いかねないです」と、設計の井上さん。一方、床暖房は廊下に至るまでほぼ全面に敷き、温度差による身体への負担を抑えています。光あふれる居間は、無垢の床板に漆喰の塗り壁など、調湿効果のある自然素材がふんだんに使われています。ご主人は、この居間や寝室をゆっくりと行き来。寝室には、2階と通じるインターホンを備え、子世帯の協力態勢も万全です。

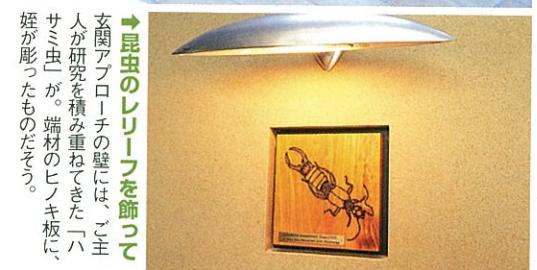
「この家に住んでから、主人は風邪をひかなくなつて、旅行に出掛けられるまでになりました」。家族みんなが、心も身体も健やかに過ごせる住まいが得られた酒井さん宅です。

隣居スタイルで  
暮らす酒井さんの家

# 活躍していたころの記憶を活力に 家の壁にレリーフを刻みました。

■設計／環境企画G 下高井戸分室

◀道路に面するため、階段に  
玄関アプローチは両側に手すりを付けた。  
床をスロープにすると勾配が急になり、  
玄関の前が道路でかえって危ないため、  
蹴上げ4cmのなだらかな階段にしている。



▼寝室には空気清浄機能付きエアコンを  
ご主人が肺炎をおこしたこともあったため、空気  
清浄機能付きで熱交換型（三菱電機）エアコンに。



▶昆虫のレリーフを飾つて  
玄関アプローチの壁には、主  
人が研究を積み重ねてきた「ハ  
サミ虫」が。端材のヒノキ板に、  
姪が彫ったものだそう。

『バリアフリーのソフト面』も大切に。玄関アプローチの壁には、ご主人が研究してきた成果が刻まれています。ゆったりとしたアプローチから玄関に向かうと、壁面に昆虫が描かれています。木の板が真っ先に目に留まります。ここは、酒井さんご夫妻が息子さんと一緒に暮らす二世帯住宅。3年前にご主人が脳梗塞で倒れて以来、左半身が麻痺状態に。一方、別々に暮らしてきた息子さんは、心配しながら日々忙しく、なかなか行き来が難しかったため、「一つ屋根の下、支え合つて暮らそう」と二世帯住宅を建てるにしました。酒井さんご主人は、昆虫分類学の大家。設計の井上さんは、「本人が活躍していたころの記憶を家に刻み、活力にしてもらいたい」と、バリアフリーのソフト面も大切に考えました。そこで、家に出入りする際に目にふれやすい玄関アプローチの壁に、ご主人が打ち込んできた昆虫のレリーフを埋め込むことに。「よく道行く人に、博物館ですかって聞かれるんですよ」と、楽しそうに奥さんも話します。

『バリアフリーのソフト面』も大切に。玄関アプローチの壁には、ご主人が研究してきた成果が刻まれています。



◀デッキに面して、光がまわり込む寝室  
寝室にはデッキ越しに光が差し込み、気持ちよく過ごせる。出窓や家具の上には、奥さんとともに掛け、ご主人が各国で採集した珍しい蝶の標本が飾られている。

↓2階の子世帯とはインターホンで連携  
ご主人のベッドの近くにあるインターホン。子世帯の協力あってこそ、安心して過ごせるんです、と奥さん。



う広めにとられた玄関

車イスが余裕で置ける。デイサービスなどに出掛ける際にご主人は、左側にある手すりを伝って、外の道路近くまで出てから、車イスに乗る。

BARRIER FREE 美しい部屋別冊

## 新築＆リフォーム

家族みんなが快適に暮らせる工夫集

実例

# 私たちの バリアフリー住宅

